

小学生の部 入賞

僕にはお父さんがいない。五年前、突然の水難事故でいなくなってしまった。その日から僕のお父さんはじじになった。

僕のじじは毎日僕で忙しい。お母さんは毎日仕事で帰りが遅いので、学校が終わるといつも僕の家まで迎えに来てくれる。そして習い事の送迎、宿題のサポート、ある時は少年野球をやっている野球好きな僕に野球を教えてくれたり、野球観戦に連れてってくれる。

そんなじじに僕はある日数万円もするバットを買ってとおねだりしてみた。絶対に断られると思ったが、すんなりと買ってくれてしまった。その時、ばばに言われた言葉がある。「野球を頑張っているあなたがじじの生きがいなの。だから野球を頑張りなさい。」

僕はその日から、このバットでたくさんホームランを打ってじじを喜ばせようと決めた。

普段ははずかしくて言えないけれど、じじには感謝の気持ちでいっぱいだ。いつも色々ありがとう。いつまでも長生きしてね。

愛知県名古屋市長谷川卓摩さん

小学6年生
はせがわたくま
長谷川卓摩さん